

2024 HARP地域リハビリテーション連携強化研修会

第1回全体研修会 質問・意見への回答

（質問1）

職種：理学療法士 経験年数：13年目 所属：札幌支部 HARPでの役割：なし

（質問内容）

HARPの活動の参加（見学含め）の方法や手順が分からないので知りたいです。

（回答内容）

HARPでは研修会で提示したように各地区に地区長がいます。また各市町村には担当者もおいています。まずは自分の活動したい、あるいは所属する地域、町の担当者にコンタクトしてみてください。わからなければHARPのHPの地域支援事業に地区長の名簿を載せていますので確認ください。

下記がURLになります

<https://harp-pos.jp/chiiki/>

（質問2）

職種：理学療法士 経験年数：17年目 所属：道東支部・網走支部・北網支部 HARPでの役割：窓口担当

（質問内容）

HARP事業→士会支部→道士会局へ報告となっているので、HARP→道士会局→士会支部になるとありがたいです。いかがでしょうか？

（回答内容）

こちらは各士会の支部にて管轄する地域内の活動を把握しておくという意図もあり、このような流れになっています。地域にもよりますが、士会支部の活動とHARPの活動を担う会員も重なっていることも多いかと考えます。ご理解いただけますようお願いいたします。

(質問3)

職種：作業療法士 経験年数：23年目 所属：道北支部 HARPでの役割：主担当地区長

(質問内容)

各市町村単位での実践は各市町村状況に応じて取り組まれていることは把握できましたが、振興局単位では振興局内市町村間での情報共有や情報交換の取り組みはあるものの、振興局単位での事業実践をされている事例はないのが現状なのでしょうか？聞き逃していたらすみません。振興局単位では具体的にどのような取り組みをしたらよいのかわからず、知りたいと感じました。

(回答内容)

具体的に振興局単位で何かの事業を広域で行っているという事例は把握しておりません。ただ、北海道では都市部と過疎化の進む地域を各振興局のなかに抱えているのが現状で、それぞれで課題はことなっていると考えます。人の少ない、リハ職のいない地位への支援は今もそうですが、都市部からの派遣や協力なしには難しいのが現状です。リモート支援の活用も含めて広域での課題の解決を考えていく体制を作ることが必要だとかんがえます。振興局ごとあるいは北海道全体への支援の在り方を、地域で何が必要かと合わせて検討する機会を作っていくのはいかがでしょうか。

(質問4)

職種：作業療法士 経験年数：16年目 所属：道南支部 HARPでの役割：派遣担当

(質問内容)

行政にPTOTSTが配属となった自治体もあるように思うが、そのような自治体にも継続してHARPは関わっているのか？

(回答内容)

その方だけで事業継続可能とは思いません。協力していただけるようお願いします。

(質問5)

職種：理学療法士 経験年数：9年目 所属：道南支部 HARPでの役割：派遣担当

(質問内容)

私は一派遣担当者ですが、Google formを利用した報告を行ったことがありませんでした。また地区担当からGoogle formの存在を聞いたこともなく、あれば地区担当者レベルで報告可能な話なのか、派遣担当者が何か実施したら報告可能なのかがわかりませんでしたので、教えて頂けると幸いです。また、研修会内で他地域の活動内容を知れるのがメリットと説明して頂きましたが、現状では同支部内で他の人が何をやっているかもわからないため、まずはそこから改善したほうがいいのではないかと思います。

(回答内容)

Googleフォームを利用した報告については地区長宛に地域局よりお願いの案内を出しております。内容は下記から確認できます。

https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLSdSOY5horkB1eVd4NrYxP_rQv8z3B7kRCOsj5GSv0O76TSNw/viewform

地域での情報共有については是非皆さんからも発信して、地区長とともに協議いただきたいと思います

（質問6）

職種：作業療法士 経験年数：13年目 所属：道東支部・網走支部・北網支部 HARPでの役割：なし

（質問内容）

地域共生社会というキーワードが出ていましたが、小児や子育て、保育や学校支援といった領域への関わりをされている、あるいは領域や世代を超えた多世代共生型の取り組みをされている事例はありますか。
また、HARPの成り立ちから高齢領域（介護予防）に介入したいのはよく分かりますが、共生社会となると高齢世代への関わりのみでは目的は達成できないかと思っておりますがそこについて何か方策等は検討なされているかを伺いたいです。

（回答内容）

事例を集めておりませんが、いくつかの例は聞いております。
また、こちらを進めていかないかとの意見は理事会でも出ています。検討させてください。
今の基金事業の枠組みの中では難しい内容ではあります。

(意見1)

職種：作業療法士 経験年数：13年目 所属：道東支部・網走支部・北網支部 HARPでの役割：なし

(質問内容①)

今回は士会から案内が来たので参加させていただきましたが、そもそもHARPに登録？する方法が明確ではないような気がしています。登録し活動するまでのフローやラダーなどを作成しホームページなどで公開されるなどして明確にされてはいかがでしょうか？

(回答内容)

HARPの活動に参加していただくにはどうするとよいのかということかと考えます。
HARPのHP上にあります地区長名簿を参照いただき、自分の活動地域の地区長へ連絡、相談していただくことで実際の派遣登録という流れになります。
ご意見の通りこのあたりの説明をわかりやすく提示する方向で対応していきます。

(意見1)

職種：作業療法士 経験年数：13年目 所属：道東支部・網走支部・北網支部 HARPでの役割：なし

(質問内容②)

認定研修で自身に関わるケースについて持ち込みワークする？といった内容のように聞こえましたが、そもそも論としてすでに包括や行政、自身で法人や団体を起こして活動しているなど地域領域で活動されているHARPとして即戦力になりうる療法士は個別ケースの支援をしていないというパターンがあり、そういう方は認定研修には参加しにくいのではないのでしょうか。

(回答内容)

ケア会議、サービス担当者会議、院内のカンファレンス、家族指導などの場面での経験をまとめて頂くということに、なってます。
間接的でもいいですが、基本は個人の対応内容を報告いただきたいと思います。

(意見1)

職種：作業療法士 経験年数：13年目 所属：道東支部・網走支部・北網支部 HARPでの役割：なし

(質問内容③)

教育の中で地域支援の必要性などにも触れられたりする機会も増えており、地域に関心のある療法士は増えていると思いますので、養成校などにも協力いただいて、学生のうちから積極的に加入を呼びかけたりされてはいかがでしょうか。

(回答内容)

HARPについての理解がなかなか進んでいない現状のなか、新卒者へのアプローチは有効かもしれません。検討、対応させていただきます。

（意見1）

職種：作業療法士 経験年数：13年目 所属：道東支部・網走支部・北網支部 HARPでの役割：なし

（質問内容④）

シルリハ指導士を養成するのは良いと思いますが、住民主体の通いの場を作るためのボトルネックは、多くの場合、住民自身に組織化のノウハウがないことであるように感じます。
行政や振興局との連携だけでなく組織化支援ができる療法士の養成、
あるいはそういったノウハウをもつ専門職や肩書（社福士とか社協とか生活支援コーディネーター）の人との連携推進もされてはいかがでしょうか。

（回答内容）

その通りですね。実際にはそのような連携や関係構築を進めている地域もあると聞いております。
ご指摘の通り各地域で必要な関係構築や、さらに連携、協働を進めていただくことが必要です。
ぜひ進めていただきたいと考えます。
HARPとしても重要な視点として提示させていただきたいと考えます。

(意見2)

職種：作業療法士 経験年数：13年目 所属：道南 HARPでの役割：役員・局員

(質問内容①)

名簿の内容（所属、経験年数、研修終了有無）の更新が大変。各職種にも分担するが所属の変更、変更先での連絡先など把握できていない場合がある。地区長→支部にも協力を仰ぐが、更新依頼から締め切りまでの期間が短く、十分に対応しきれない。名簿をどのように使うか目的を見直し、名簿内容も見直していただきたい。
経験年数については関数などを活用して更新をかけることができないか検討してほしい。

(回答内容)

検討、対応していきます。

(意見2)

職種：作業療法士 経験年数：13年目 所属：道南 HARPでの役割：役員・局員

(質問内容②)

会議費の予算確保について。年度末などに各窓口担当とwebで打ち合わせをすることがあるが、HARPあるいは各士会で予算の確保ができないか。

(回答内容)

H A R P 側では現状予算確保困難です。会議費用について改めてどうにかできないかを検討いたします。各士会についてはH A R P で回答できませんので検討いただけないかを伝えます。

(意見2)

職種：作業療法士 経験年数：13年目 所属：道南 HARPでの役割：役員・局員

(質問内容③)

WEB会議の際のZOOM使用について。予算の件同様、窓口担当の際に利用できるZOOMアカウントはあるのかどうか知りたい。ある場合は手順を提示していただきたい。
ない場合は今後対応する予定があるのか教えてほしい。

(回答内容)

HARPで利用できるアカウントに限りがあります。
また、Zoomの認証方法が簡単ではなくなりましたので、広く使っていただける状況にはありません。
時間制限ありますが個人のアカウントを利用いただき、会議の時間は短くしてもらうのが良いかと考えます

(意見3)

職種：理学療法士 経験年数：34年目 所属：道北 HARPでの役割：役員・局員，派遣担当

(質問内容)

HARP事業は各市町村へどのように案内されているのでしょうか。単年の事業のみでしょうか。他の事業が増えていく予定はないのでしょうか。市町村への相談などの派遣費などは事業対象として盛り込むことはできないのでしょうか。

(回答内容)

成果報告会を通じての報告は行っていますが、参加市町村はすくない状況です。事業内容については毎年北海道から各市町村へ連絡行っています。派遣費はすみませんが難しいです。

(意見4)

職種：作業療法士 経験年数：22年目 所属：道南 HARPでの役割：その他（支部長・副支部長）

(質問内容)

HARP事務局など運営サイドと支部とのコミュニケーションを増やしたほうがいいと感じます

(回答内容)

賛成です。機会を作る方向で検討させてください。

支部と地区長あるいは市町村担当のコミュニケーションも同様に増やす方向にできないかと考えます。

(意見5)

職種：作業療法士 経験年数：17年目 所属：日胆 HARPでの役割：窓口担当

(質問内容)

グーグルフォームでの事業集計について

事業の謝金など事務局に間に入っていたいただき振込をお願いしていると思いますが、そこから集計は出来ないのでしょうか？それとも事業集計とはHARPを、通さないで行っているものを集めたいのでしょうか？

別件ですが、各地方のお話は聞けましたがもっと札幌市内のお話も詳しく聞きたいです。

(回答内容)

事務局で集計できるのはあくまでHARP都契約していただいている市町村のみです。

他の市町村活動は報告いただかないと拾えません。ですので広く報告には協力いただけるようお願いします。

別件の回答です

札幌は北海道の基金の対象外ですので、基金事業内で活動報告にはありません。

札幌の状況については石狩の地域連携強化研修会や他の研修での報告ででてきておりますが、まとめてというのはありませんでした。札幌に依頼して研修を企画いただくのも一つの手段になります。日胆での企画に入れ込んでいただくことでも可能です。また、全体研修会のテーマとして札幌、旭川などの都市部の活動を報告いただくというのもよいかと考えますので、検討させていただきます。

(意見6)

職種：理学療法士 経験年数：9年目 所属：道南 HARPでの役割：派遣担当

(質問内容)

協会会員はHARP会員でもあると思いますが、それを知っている人はごくわずかであると考えています。行政側と窓口担当をつなぐという課題もあると思いますが、そもそもHARP活動を前向きに実施できるセラピストを増やしていくこと、また一度参加したセラピストが脱落しないようなシステム作りが必要ではないかと思います。

(回答内容)

ご指摘の通りです。HARPとしても活動していただいた方が何らかの理由で代わり、その後の活動に支障がでるということを危惧しております。継続性の維持はどこの地域でも大きな課題であり、HARP役員、運営側でも課題であります。組織・活動の継続性をどう保つかについては検討課題として進めさせていただきます。

(意見7)

職種：作業療法士 経験年数：22年目 所属：札幌 HARPでの役割：窓口担当

(質問内容)

今後の研修会の予定を一覧にしたものをサイボウズにあげてもらえると案内しやすいです。
また定期的に更新もしていただけるとありがたいです。

(回答内容)

予定決まり次第共有するように進めます。

(意見8)

職種：作業療法士 経験年数：13年目 所属：後志 HARPでの役割：窓口担当

(質問内容)

支部の課題かと思いますが、前担当者の代より地域ケア会議への参加や地域包括など行政とのつながりがあまりなく、進展させていなかったため、つながりの作り方は課題と感じていました。
きっかけ作りについて他支部での取り組みについて拝聴したいと感じました。

(回答内容)

今後の活動よろしくお願いいたします。

(意見9)

職種：作業療法士 経験年数：13年目 所属：札幌 HARPでの役割：派遣担当

(質問内容)

私は実情に詳しくないですが、お話を聞いて、やはり振興局とのやりとりをどう活発にするか、簡単にするか、当たり前前の文化にするかが重要と感じました。そのための連絡手段の確立や、日中に振興局の方たちと一緒に何かやりやすい状況を作ることが重要と感じました。そのためには組織と個人への報酬体系の整備が必要と感じました。業務後に自己研鑽的に頑張りたいというスタイルでは、ほぼやらないし、振興局の皆さんとも時間が合っていないので、あまり効果的ではないと感じました。職場も、外のことをやらないで中のことをやってくれ、となる所は少なくないのではないのでしょうか。一概には言えませんが。これらの課題がクリアになると、やり手が集まり、振興局とのやりとりもしやすくなるのではないのでしょうか。もちろん財源確保のハードルは高いかと思いますが。また、自治体にセラピストを置く、ということを中心とするなら、そのようなモデルケースをたくさん紹介することは有効かと思いました。働き方や1日の流れ等、「お仕事紹介」のように。本日はありがとうございました。

(回答内容)

ご意見の通りです。
また、財源についてもご指摘の通り難しい状況です。
事例については皆さんと共有できるように進めていきます。
ご意見ありがとうございます。

(意見10)

職種：言語聴覚士 経験年数：21年目 所属：石狩 HARPでの役割：把握していない

(質問内容)

自分の市の事業の状況を定期的に共有してほしい。自分の開始しようとしていることが事業の一部になれるのかも理解できていないので自分ごととしてとらえにくい面がある。と感じてしまいました。健康教室など参加してきましたが、ハープから助成されていたのかもわかっていませんでした。微力ですができることから情報収集して関りを持っていければと思います。この度はありがとうございました。

(回答内容)

ありがとうございます。
今後ともよろしくお願いいたします。

(意見11)

職種：作業療法士 経験年数：24年目 所属：釧根 HARPでの役割：窓口担当

(質問内容)

神経難病に関するセラピスト側の知識・臨床経験の課題を感じた発表がありました。
疾患としてはこの他に認知症への対応力・アドバイス力はPOS全体の課題だと感じます。
また、HARPに関連したセラピストのうち、どのぐらいの割合の方々が介護支援専門員の資格を取得しているのかも知りたいと思いました。

(回答内容)

神経難病については後志にて自治体とのやり取りで実際に出てきた課題で、
どうするかを研修と協力施設等と共に検討、対応を進める方向です。
認知症に関しても同様に地域でどう支える、市民の認知を進めるというのが大きな課題です。
行政側の課題認識とリハ専門職側の対応力は確かに対応必要と考えます。
ご意見ありがとうございました。

(意見12)

職種：理学療法士 経験年数：17年目 所属：道東支部・網走支部・北網支部 HARPでの役割：窓口担当

(質問内容)

窓口として配置はされていますが、特に役割はなく、情報収集のみとさせていただいています。

(回答内容)

今後の活動についてよろしく願いいたします。

(意見13)

職種：作業療法士 経験年数：7年目 所属：道南支部 HARPでの役割：派遣担当

(質問内容)

地域毎に持つ課題等があるため、様々な意見や活動を吸い上げ周知していく事でより良い活動を行っていけると思われます。

(回答内容)

よろしくお願いいたします。

（意見14）

職種：作業療法士 経験年数：23年目 所属：道北支部 HARPでの役割：主担当地区長

（質問内容）

様々な研修や情報提供をいただき、ありがとうございます。他地域での活動を参考にしながら、当地区での特色や現状に合わせ、少しずつ実践を重ねて進んでいければと思っています。困った時には相談させていただき、ご助言いただければ幸いです。今後ともよろしくお願いいたします。

（回答内容）

よろしくお願いいたします。

（意見15）

職種：理学療法士 経験年数：9年目 所属：札幌支部 HARPでの役割：派遣担当

（質問内容）

療法士単体ではHARPと個別に関わる機会が少ない印象です。

もう少し身近な存在になるような活動を望みます。当院でもPTを中心に「地域活動」というものは必要、参加したいという認識がある職員は多いですが、HARPとはそこにどう関わっているか認識していないスタッフが殆どです。

（回答内容）

今後ともHARPの組織と活動に関する広報をすすめていきます。

HARPの活動に従事されている皆様からもぜひ、会員に理解していただけるよう情報共有をお願いいたします。